Form No. 3396-473 Rev A

電動リール用ハーネスキット

2011年度製造のGreensmaster® 3320 および 3420 TriFlex®トラクションユニット用

モデル番号132-6967

取り付け要領

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。

注 前後左右は運転位置からみた方向です。

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車し、エンジンを停止させ、キーを抜き取る。
2. バッテリーから、マイナスケーブルを外す。
3. ROPSの左側のベース部分にあるバッテリー遮断スイッチを切り離してリール用バッテリーを回路から切り離す。
4. 左右のコンソールを固定しているフランジヘッドボルトを外して、コンソールを外す図 1。

   注 フランジヘッドボルトと左コンソールは捨てないでください。右コンソールは廃棄してください。

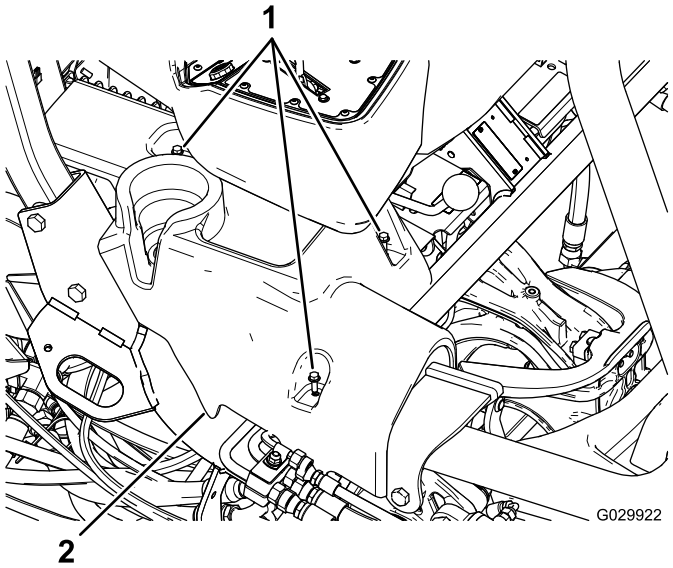

図 1
図は右コンソール

1. フランジヘッドボルト　　2. 右コンソール

5. 運転席を倒す。
6. アース用ブロックからアース用コネクタJ06とJ08を外す。
7. 既存のワイヤハーネスを固定しているケーブルタイを全部切断する。

   重要 電気コードや電装機器を傷つけないように注意してください。

8. ヒューズブロックを運転席下に固定しているブラケットを外す図 2。

   注 ヒューズブロックはブラケットに付けたままにしておいてください。

© 2015—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3396-473 A

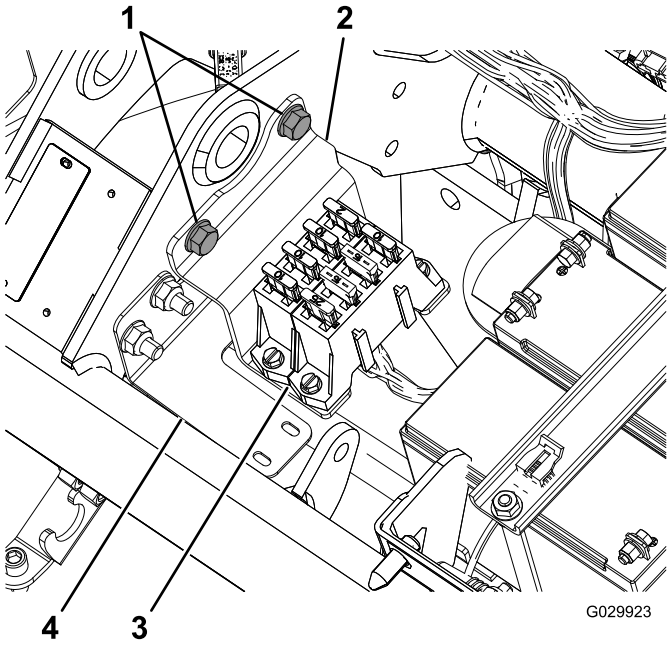

図 2

1. フランジボルト
2. ブラケット
3. ヒューズブロック
4. ハーネスブラケット

9. リールモータ3台からハーネスを外す。

   注 各リールモータにコネクタがつあります。

10. ジェネレータエンジンの隣からプラグを外す図 3。

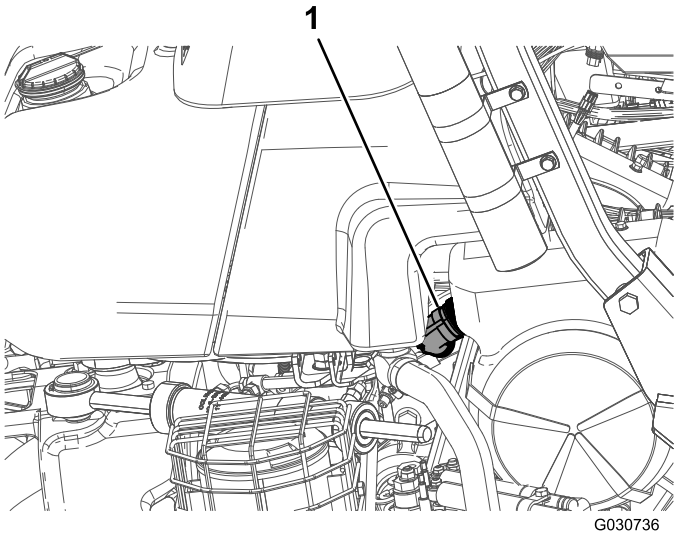

図 3

1. ジェネレータのプラグ

11. メインハーネス運転席下から、コネクタを2つCANバスインターコネクト用とメインハーネス用インタフェースを外す。
12. 座席下のリール速度スイッチP04を外す。
13. ロケーション ID モジュールP08を外す。
14. CANインタフェースモジュールP10を外す。
15. コンタクタDC 48 Vの前側端子部にある Battery Side というラベルの付いたワイヤとバッテリー遮断用のワイヤを外す。

    注 新しいワイヤハーネスを取り付けるまでは、バッテリー遮断用のワイヤとをコンタクタに接続する必要はありません。

16. コンタクタから、メインコンタクタコイル用のコネクタ2個を外す。
17. コンタクタの反対側から、スイッチ側のパワー線J07を外す。
18. 電動リール回転許可リレーのコネクタを外す。
19. ヒューズ10A、58Vから端子を取り外す。
20. ワイヤハーネスを外して廃棄する。

ワイヤハーネスの配設と接続を行う

1. 新しいワイヤハーネスを配置するジェネレータへ向かうラインが後フレームの右側を通り、ヒューズブロックを ROPS のブラケットに取り付けるのに十分なだけの余裕を持たせるようにする。
2. 運転席の下にあるメインハーネスに沿って新しいハーネスを敷設する。
3. 運転席下のヒューズブロック用のブラケットにハーネスが嵌るようにハーネスを曲げる。

   注 ハーネスブラケットの形状に合わせてください図 2を参照。

4. フレームのメインチューブの下にハーネスを通し、リール用バッテリーの前まで導く図 4。

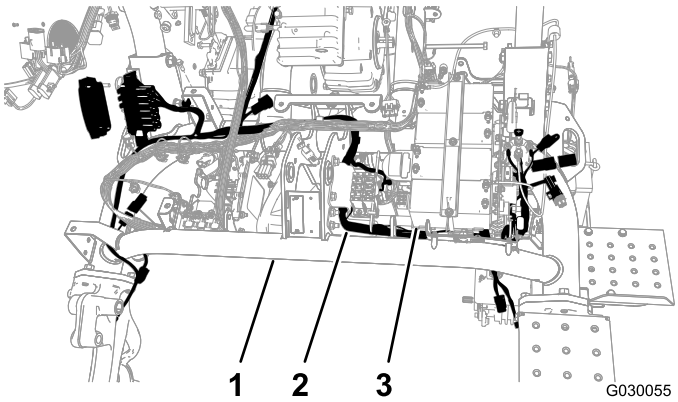

図 4

1. メインチューブ
2. ワイヤハーネス
3. リール用バッテリー

5. バッテリープレートの反対側と左フレームチューブとの間を通って新しいハーネスを戻す図 4。
6. フレームの間からハーネスを引っ張る。

注 コネクタの下や周囲にハーネスを這わせた状態でスイッチ側コネクタを取り付ける十分なスペースがあります。

7. ハーネスブラケットにハーネスを固定するプッシュマウントとケーブルタイを使用図 5。

注 古いプッシュマウントがまだ穴についている場合は外して廃棄してください。

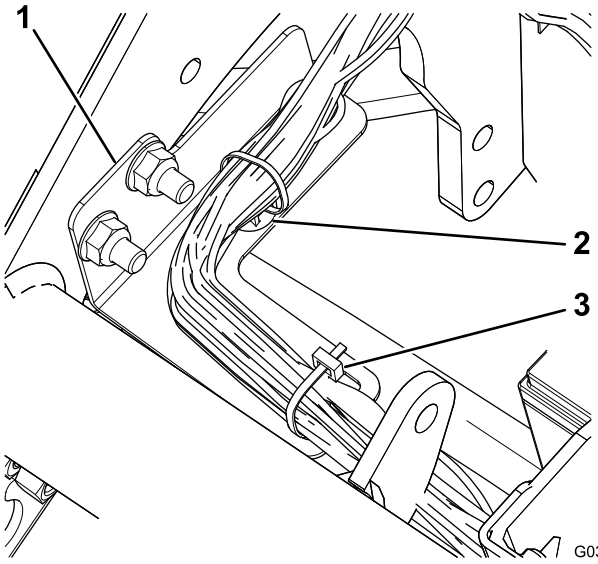

図 5

1. ハーネスブラケット
2. プッシュマウント
3. ケーブルタイ

8. ワイヤハーネスにあるジェネレータ用インタフェースを、エンジンの隣にあるジェネレータの端子に接続する。

注 モデル 04530ガソリンエンジンでは、ジェネレータは機体フレームの中央にあります図 6 モデル 04540ディーゼルエンジンでは、ジェネレータは機体フレームの外側にあります図 7。

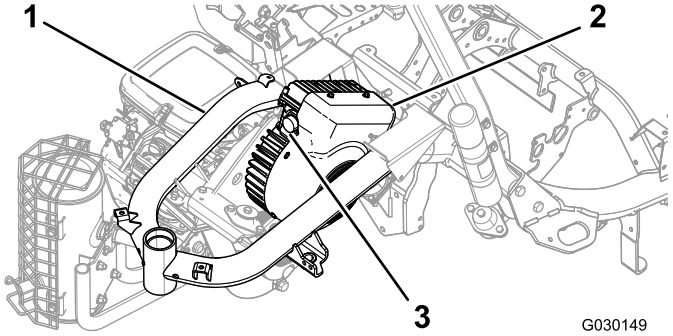

図 6

モデル 04530

1. フレーム
2. ジェネレータ
3. 端子

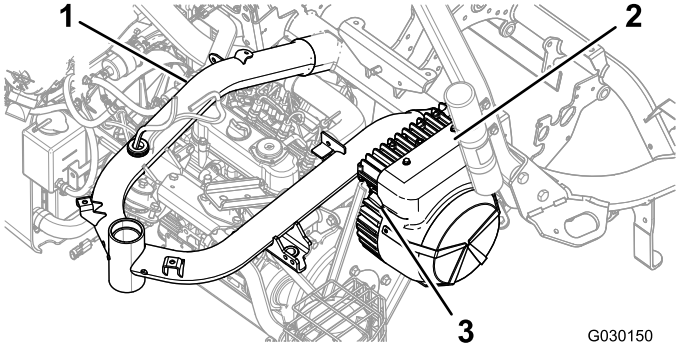

図 7

モデル 04540

1. フレーム
2. ジェネレータ
3. 端子

9. ジェネレータのインタフェースのリングをゆっくり右に回してもう一方のコネクタに合わせて接続を固定する。

重要 端子を完全に接続してください。接続がゆるいと異常に発熱して損傷する恐れがあります。

10. 各端子を対応するリールモータに接続する図 8。

注 コネクタ同士がカチッと音を立てて接続するのを確認してください。

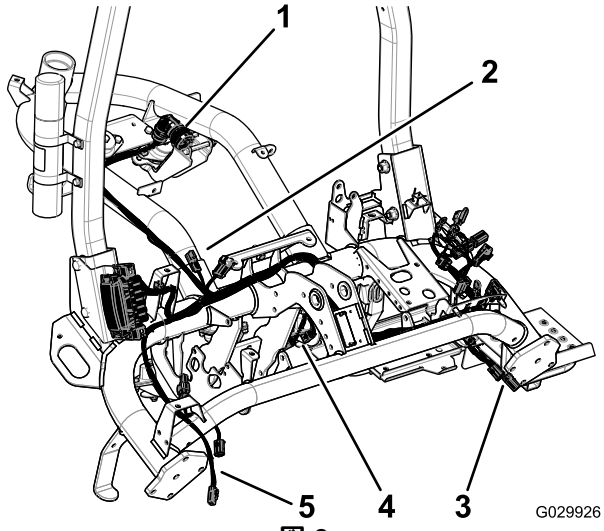

図 8

1. ジェネレータのプラグ
2. メインワイヤハーネスへの端子
3. 2番リールへ
4. 1番リールへ
5. 3番リールへ

11. 図 9に示すように、ヒューズ10A、58Vからキャップを外して捨てる。

注 ヒューズには赤い線と黄色い線が付いています。

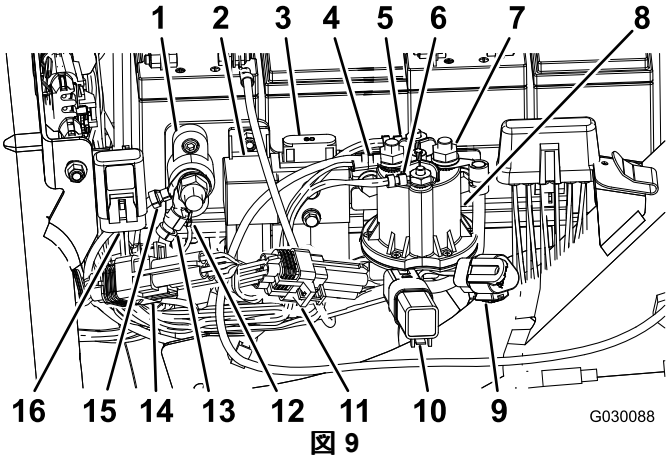

図 9

1. アース端子ブロック
2. 電動リール回転許可リレー
3. 電動リール用ヒューズ60A, 58V、既存
4. バッテリ側電源線ゴムカバーは図示せず
5. メインコンタクタコイルのコネクタ白
6. メインコンタクタコイルのコネクタ茶
7. スイッチ側電源線ゴムカバーは図示せず
8. コンタクタDC 48 V
9. 電動リール用CAN 診断ポート
10. 保護用ダイオード
11. IDモジュール
12. ハーネスのアース線
13. ハーネスのアース線
14. CANインタフェースモジュール
15. 電動リール用バッテリーのアース
16. ヒューズ10A、58V

12. ヒューズ10A、58V付きの端子を、機体フレームに取り付けてある既存のキャップに挿入する図 9。
13. 電動リール回転許可リレーのコネクタP07を、図 9に示すように接続する。
14. ワイヤハーネスについているスイッチ側コネクタJ0790度の角度が付いているを、コンタクタDC 48 Vの後部端子に接続固定する図 9。
15. ワイヤを、コンタクタDC 48 Vのフランジの下に通す。
16. 図 9に示すように、メインコンタクタコイル用のコネクタ2個を、コンタクタDC 48 Vに接続する。
17. 図 9に示すように、Battery Side と表記されているワイヤとバッテリー遮断用のワイヤとを、コンタクタDC 48 V の前部端子に。
18. スイッチ側電源線のコネクタの端子部とバッテリー側コネクタの端子部にゴム製のカバーを取り付ける。
19. 図 9に示すように、ID モジュールP08を接続する。
20. 図 9に示すように、CANインタフェースモジュールP08を接続する。
21. 座席下のリール速度スイッチP04を接続する。
22. 新しいハーネスのコネクタを2つCANバスインターコネクト用とメインワイヤハーネス用を、マシンのメインワイヤハーネス運転席下の2つの端子に接続する。
23. ヒューズブロックを取り付ける (図 10).

    注 ワイヤハーネスをブラケットの後ろに通す。

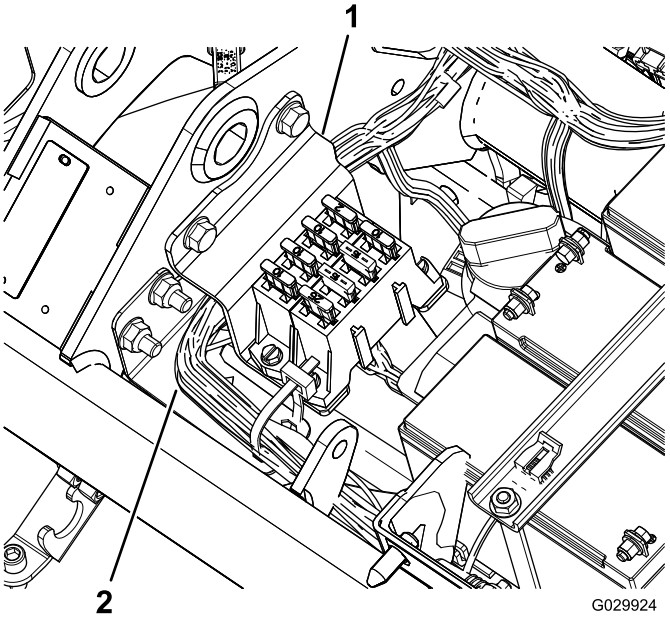

図 10

1. ブラケット
2. ワイヤハーネス

24. アース用コネクタJ06とJ08を、アース用ブロックに接続する図 9。
25. ケーブルタイを使用して、ワイヤハーネスをメインハーネスとフレームに固定する。

    重要 ワイヤハーネスのどの部分も可動部から十分に離れていることを確認してください。
26. ワイヤハーネスを、燃料タンクのブラケットの後ろと前で機体フレームに固定する。
27. ケーブルタイを使って新しいワイヤハーネスを固定する。

    重要 座席がハーネスを押しつぶさないように配線してください。

ヒューズブロックブラケットを取り付ける

1. ROPSの右側を機体フレームに固定しているナットとボルト各2をゆるめる図 11。

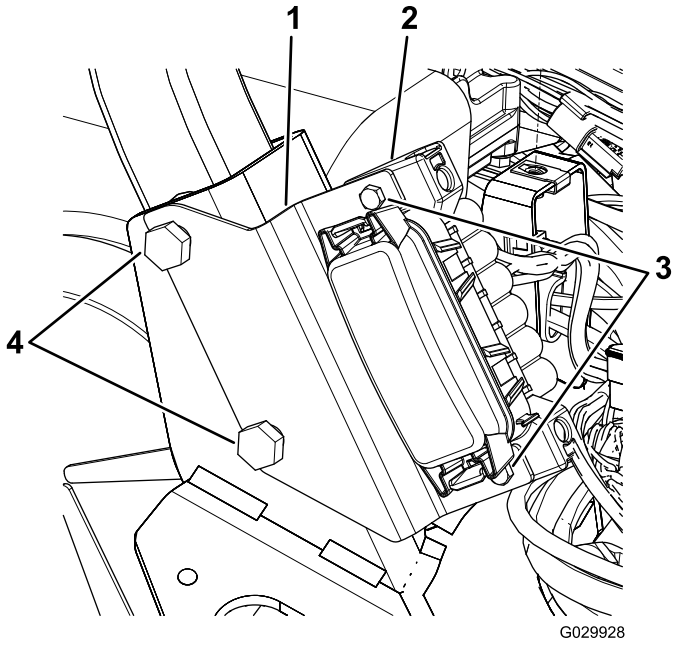

図 11

1. ブラケット
2. ヒューズブロック
3. ねじ
4. ROPS ボルト

2. 図 11 に示すように、ヒューズブロックブラケットのスロットをボルトに整列させる。
3. ROPSボルトを136149N·m13.815.2kg.mにトルク締めする。
4. ねじ2本で、ヒューズブロックをブラケットに固定する図 11。

サイドコンソールを取り付ける

1. 新しい右コンソールのボルト穴を、機体のボルト穴に合わせる図 12。

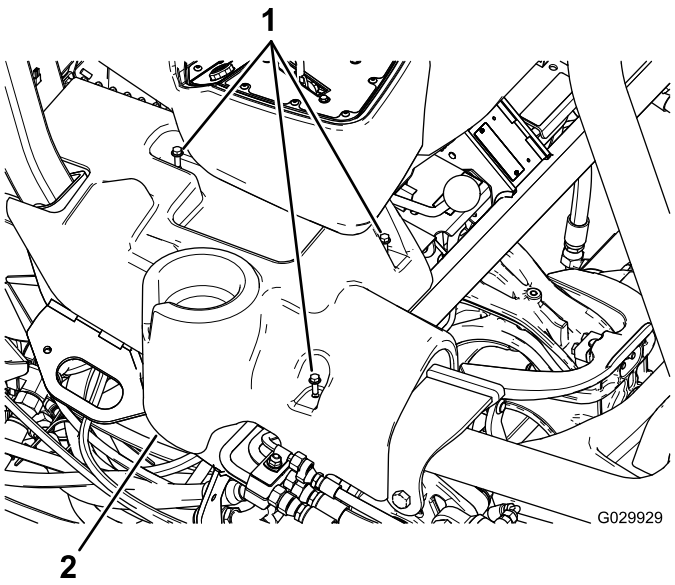

図 12
図は右コンソール

1. フランジヘッドボルト
2. 右コンソール

2. 既存の左コンソールのボルト穴を、機体のボルト穴に合わせる。
3. サイドコンソールを固定する既存のフランジヘッドボルトを使用する。

メモ

メモ



Count on it.